

事務事業評価シート

(平成 23 年度実施事業)

事務事業名	お城を中心としたまちづくり事業			事業コード	2407
所属コード	092000	課等名	公園みどり課	係名	花と緑のまちづくり担当
課長名	今野 孝一	担当者名	藤井 英樹	内線番号	7268
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

1 事務事業の基本情報

(1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	快適な都市機能	コード	7
	施策	うるおいのある公園・街路樹の確保	コード	4
	基本事業	スペースの確保	コード	1
予算費目名	一般会計 8 款 4 項 7 目 都市公園整備事業 (002-02)			
特記事項				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	20 年度	
根拠法令等	文化財保護法, 都市公園法, 盛岡市都市公園条例, 盛岡市中心市街地活性化基本計画, お城を中心としたまちづくり計画			

(2) 事務事業の概要

本事業は盛岡市中心市街地活性化基本計画において、主要な事業として位置付けされており、「お城を中心としたまちづくり計画」を踏まえ、史跡の保存整備と都市公園整備との調和のもと、都市と美しい自然の調和、並びにお城の風格や城下町の情緒など地区の特性を活かした総合的なまちづくりを目的としている。

(3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

盛岡城跡公園を中心とした将来のまちづくりビジョンの検討において、史跡との共存を前提とした魅力ある公園整備を目指し、もりおか歴史文化館の整備や櫻山神社周辺の整備の方向性を見出す必要があったことと併せて、盛岡市中心市街地活性化基本計画が認定されたことによる。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

盛岡城跡公園並びにその周辺地区について、整備計画や賑わい創出のための個別具体的な実施計画の策定が必要であり、平成 23 年度に史跡盛岡城跡保存管理計画を策定した。

また、岩手公園愛称検討懇話会や市議会などから「単なる愛称の決定に止まらず、公園や周辺地域の資源を活かし、市街地の賑わいを生み出す魅力のある公園として、公園を中心としたまちづくりを進めることが大切である」との意見がある。

2 事務事業の実施状況 (Do)

(1) 対象 (誰が, 何が対象か)

市民, 観光客

(2) 対象指標 (対象の大きさを示す指標)

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 見込み
A 人口	人	297,267	298,148	298,148	298,853	
B 観光客見込数	万人	459	444	472	466	
C						

(3) 23年度に実施した主な活動・手順

もりおか歴史文化館前庭整備

案内標示板整備

(4) 活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 目標値
A 工事費	千円	43,600	24,310	14,400	14,402	
B						
C						

(5) 意図 (対象をどのように変えるのか)

盛岡城跡公園とその周辺地区の活用と賑わいの創出

(6) 成果指標 (意図の達成度を示す指標)

指標項目	性格	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 目標値
A 中心市街地における歩行者通行量	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	人	26,525	26,303	30,906	24,476	
B 市街地への観光客入込数	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	万人	363	357	383	374	
C	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績
事業費	① 国	千円	31,600	0	1,300	1,300
	② 県	千円	0	0	0	0
	③ 地方債	千円	9,000	19,400	9,700	9,700
	④ 一般財源	千円	3,000	4,910	3,400	3,402
	⑤ その他()	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	43,600	24,310	14,400	14,402
人件費	⑥ 延べ業務時間数	時間	4,000	4,000	4,000	4,000
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	16,000	16,000	16,000	16,000
計	トータルコスト A+B	千円	59,600	40,310	30,400	30,402
備考						

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

① 施策体系との整合性

盛岡城跡公園は、市街地の中心部にあり、本事業の推進により、盛岡城跡公園を中心とした賑わいの創出と都心の魅力を高めることが出来る。

② 市の関与の妥当性

本事業の推進は、中心市街地の活性化にも寄与することから、市の関与は妥当である。

③ 対象の妥当性

市民や観光客を対象としており、妥当である。

④ 廃止・休止の影響

本事業は、中心市街地活性化計画において主要な事業であり、盛岡城跡公園を活かすまちづくりを行うことは、各種中心市街地活性化事業と連携して取組むことにより、計画の推進に有効であることから、廃止・休止はまちづくりに大きな影響がある。

(2) 有効性評価 (成果の向上余地)

もりおか歴史文化館や盛岡地区かわまちづくり等、他の事業や計画と連携を図ることで相乗的な効果が得られることから、向上の余地があると考えられる。

(3) 公平性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

広く市民や観光客を対象としており、特定の受益者は無し。

(4) 効率性評価

既に、グループ内の協力体制により人件費の抑制を図っているほか、他部署より委託工事等により業務量が増加しているため、削減の余地はない。

4 事務事業の改革案 (Plan)

(1) 改革改善の方向性

本計画の短期的事業の促進を図り、中・長期的事業へとつなげていく。

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

本計画の推進に当たっては、関係部局が多岐にわたっていることから、横断的な連携を図る必要がある。そのためには、総括的に事業を推進していく部局の設置が望ましい。

5 課長意見

(1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

本事業の推進に当たっては、関係部局の連携が欠かせない。中心市街地活性化に寄与するためにも、部局横断的な連携による事業の推進が望まれる。